



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年9月28日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）岡谷 篤一
 問合せ先責任者（役職名）企画部長（氏名）大塚 秀樹 (TEL) 052-204-8133
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月15日 配当支払開始予定日 平成24年10月31日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績（平成24年3月1日～平成24年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	355,397	7.3	6,196	54.5	7,368	47.1	4,639	△4.1
24年2月期第2四半期	331,169	2.9	4,009	△3.1	5,009	△2.9	4,840	67.8

（注）包括利益 25年2月期第2四半期 △2,240百万円（-%） 24年2月期第2四半期 △4,643百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	96.37	95.99
24年2月期第2四半期	100.41	100.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	345,626	89,270	23.8
24年2月期	357,660	92,201	23.9

（参考）自己資本 25年2月期第2四半期 82,385百万円 24年2月期 85,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年2月期	—	12.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	730,000	7.3	12,000	25.9	13,000	16.0	8,500	0.2	176.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名)― 、除外 ―社 (社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年2月期2Q	48,600,000株	24年2月期	48,600,000株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	453,485株	24年2月期	453,385株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年2月期2Q	48,146,954株	24年2月期2Q	48,204,427株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) セグメント情報.....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9
4. 参考資料.....	10
(1) 売上高のセグメント別内訳.....	10
(2) 設備投資額並びに減価償却費.....	10
(3) 人員の推移.....	10
(4) その他補足資料.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における日本経済は、東日本大震災の復興にむけて緩やかに回復しました。世界経済は、高い成長率を維持してきた中国をはじめとするアジア諸国に支えられ拡大してきましたが、最近では中国、インドなどの新興国経済の減速感が強まってきました。また、欧州ではギリシャ・イタリア・スペインなどの財政危機問題は予断を許さない状況が続いています。

このような状況下にあつて、前年の東日本大震災による経済の停滞から回復し、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,553億97百万円で前年同期比7.3%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が230億69百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益が61億96百万円（前年同期比54.5%増）、経常利益が73億68百万円（前年同期比47.1%増）となりました。また、当四半期純利益は46億39百万円で、前年は特別利益の計上があったこともあり前年同期比4.1%減となりました。

これを事業の種類別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

製造業関連では自動車、産業機械向けが好調に推移しましたが建設機械向けは下降局面に入りました。一方、建設・土木関連は公共、民間共に低迷しました。輸出は東南アジア、米国向けが増加しました。

鉄鋼部門全体では、売上高は1,482億47百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

(情報・電機)

非鉄金属分野では、電子部品業界の低迷により電子部材の売上が減少し、また、原材料関連は製品需要低迷に加え相場下落により減少しました。エレクトロニクス分野では、家電向けは減少しましたが、自動車関連向けが順調に推移しました。

情報・電機部門全体では、売上高は753億91百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

(産業資材)

メカトロ分野、化成品分野ともに、大震災およびタイ洪水の影響がなくなり好調な生産が続く自動車向けに部品・工具、樹脂原料が大幅に増えました。メカトロ分野では海外向けを中心に設備機械も順調に推移しました。

産業資材部門全体では、売上高は1,015億50百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

(生活産業)

配管住設分野では市販向け・ユーザー向けともに荷動きが悪く、ほぼ横這いでしたが、建設分野では請負工事の完工物件もあり微増となりました。食品分野では加工食品の輸入が順調に増加しました。

生活産業部門全体では、売上高は302億8百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,456億26百万円となり、主に市況の悪化に伴う投資有価証券評価額の減少により前連結会計年度末に比べて120億33百万円減少しました。

負債は2,563億56百万円となり、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末に比べて91億1百万円減少しました。

純資産は892億70百万円となり、主にその他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末に比べて29億31百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内外経済の先行きが不透明であり、平成24年4月6日発表の予想数値を据置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,267	9,568
受取手形及び売掛金	171,260	168,901
商品及び製品	38,927	38,756
仕掛品	342	373
原材料及び貯蔵品	1,703	1,765
その他	10,684	11,023
貸倒引当金	△575	△451
流動資産合計	230,610	229,936
固定資産		
有形固定資産	40,091	39,503
無形固定資産	830	698
投資その他の資産		
投資有価証券	72,749	61,603
その他	13,909	14,402
貸倒引当金	△531	△517
投資その他の資産合計	86,127	75,488
固定資産合計	127,049	115,690
資産合計	357,660	345,626

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	103,980	101,471
短期借入金	108,042	102,947
未払法人税等	2,636	2,049
賞与引当金	837	931
その他	9,320	10,937
流動負債合計	224,818	218,337
固定負債		
長期借入金	19,623	21,291
繰延税金負債	15,490	11,405
退職給付引当金	1,986	1,957
役員退職慰労引当金	693	592
その他	2,846	2,772
固定負債合計	40,640	38,019
負債合計	265,458	256,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	52,461	56,522
自己株式	△446	△446
株主資本合計	68,940	73,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,859	14,540
繰延ヘッジ損益	18	△9
為替換算調整勘定	△5,383	△5,148
その他の包括利益累計額合計	16,494	9,382
少数株主持分	6,766	6,884
純資産合計	92,201	89,270
負債純資産合計	357,660	345,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	331,169	355,397
売上原価	310,264	332,328
売上総利益	20,904	23,069
販売費及び一般管理費	16,894	16,872
営業利益	4,009	6,196
営業外収益		
受取利息	682	692
受取配当金	748	772
持分法による投資利益	385	444
その他	470	294
営業外収益合計	2,287	2,203
営業外費用		
支払利息	934	918
手形売却損	27	23
その他	325	90
営業外費用合計	1,287	1,032
経常利益	5,009	7,368
特別利益		
固定資産売却益	24	4
投資有価証券売却益	16	12
貸倒引当金戻入額	1,877	—
その他	5	2
特別利益合計	1,923	19
特別損失		
固定資産処分損	25	9
減損損失	—	115
投資有価証券評価損	203	90
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	288	—
その他	22	10
特別損失合計	540	226
税金等調整前四半期純利益	6,392	7,160
法人税、住民税及び事業税	1,144	2,329
法人税等調整額	259	△44
法人税等合計	1,403	2,285
少数株主損益調整前四半期純利益	4,989	4,875
少数株主利益	149	235
四半期純利益	4,840	4,639

四半期連結包括利益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,989	4,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,427	△7,338
繰延ヘッジ損益	△18	△27
為替換算調整勘定	△131	193
持分法適用会社に対する持分相当額	△55	56
その他の包括利益合計	△9,633	△7,116
四半期包括利益	△4,643	△2,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,760	△2,473
少数株主に係る四半期包括利益	117	232

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	143,781	77,599	80,959	28,828	331,169	—	331,169
セグメント間の内部売上高 又は振替高	603	703	74	742	2,124	△2,124	—
計	144,385	78,303	81,033	29,571	333,293	△2,124	331,169
セグメント利益	1,284	1,239	1,503	419	4,447	△437	4,009

(注) 1. セグメント利益の調整額△437百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	148,247	75,391	101,550	30,208	355,397	—	355,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	568	667	194	734	2,164	△2,164	—
計	148,815	76,058	101,745	30,942	357,562	△2,164	355,397
セグメント利益	1,931	1,281	2,734	671	6,618	△422	6,196

(注) 1. セグメント利益の調整額△422百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 参考資料

平成24年9月28日

平成25年2月期 第2四半期決算関係参考資料

岡谷鋼機株式会社

(1) 売上高のセグメント別内訳 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

【連結】	当第2四半期累計実績			前第2四半期累計実績		通期予想		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	金額	構成比	増減率
		%	%		%		%	%
鉄 鋼	148,247	41.7	3.1	143,781	43.5	305,000	41.8	4.3
情報・電機	75,391	21.2	△2.8	77,599	23.4	159,000	21.8	4.2
産業資材	101,550	28.6	25.4	80,959	24.4	201,000	27.5	15.5
生活産業	30,208	8.5	4.8	28,828	8.7	65,000	8.9	6.5
合 計	355,397	100.0	7.3	331,169	100.0	730,000	100.0	7.3

(2) 設備投資額並びに減価償却費 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	当第2四半期累計実績		通期予想	
	金額	構成比	金額	構成比
設備投資額	1,166		2,400	
<主な内容>				
基幹システム更新	167		167	
工場増設 (タイ)	337		930	
工場設備増設 (大阪府)	112		112	
工場設備増設 (愛知県)			100	
樹脂成型用金型	162		410	
減価償却費	1,718		3,500	

(3) 人員の推移

【連結】

(人)

年 度	期末人員
平成23年2月期	4,571
平成24年2月期	4,663
平成24年2月期第2四半期	4,733
平成25年2月期第2四半期	4,689

【個別】

(人)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

年 度	期末人員	一人あたり 売上高	一人あたり 当期利益
平成23年2月期	654	762	5
平成24年2月期	660	805	10
平成24年2月期第2四半期	677	383	7
平成25年2月期第2四半期	680	406	4

(4) その他補足資料

◇◇◇当社株主優待のお知らせ◇◇◇

当第2四半期(2012年8月期)株主優待として、8月末所有株式数 1,000株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。現品の発送は10月末から11月初旬の予定です。

2月末所有株式数 500株以上の株主様へは、4月下旬に《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

◇◇◇当第2四半期累計期間のトピックス◇◇◇

当第2四半期累計期間に、新たに展開した事業および主な出来事をご紹介します。

※()内は公表月日です。

◎ブラジル現地法人設立について(2012年4月)

ブラジル連邦共和国サンパウロ市に商社現地法人を設立することを決定しました。同国の経済成長に伴い自動車を始めとした工業生産が増加すると予想され、商社機能を十分発揮するために拠点を設立し、お客様のニーズに応じてまいります。

<会社名> ブラジル岡谷鋼機会社 <資本金> 30 百万円相当
 <取扱品目> 鉄鋼製品、機械、化成品、食品、その他 <人員数> 3名
 <設立> 2012年10月(予定)
 <取扱高計画> 2013年12月期 15億円
 2014年12月期 25億円

◎機械・工具販売ベトナム現地法人の事業開始について(2012年6月)

当社グループの株式会社 NaITO(JQ コード:7624)が、ベトナム社会主義共和国ホーチミン市に機械工具等の販売子会社を設立し、事業を開始しました。

<会社名> NaITO Vietnam Co., Ltd. <資本金> US\$ 500,000
 <業務内容> 機械・工具販売 <人員数> 3名
 <設立> 2012年4月14日
 <売上計画> 2013年12月期 US\$ 630,000

◎中国特殊鋼鋼材加工子会社設立について(2012年6月)

中国大連市に特殊鋼鋼材加工子会社を設立することを決定しました。当社グループである(株)岡谷特殊鋼センターの加工製造ノウハウを活かし、工作機械、建設機械業界向けに加工部品、素材などを販売することで、現地ユーザーのニーズに応じてまいります。

<会社名> 岡谷特殊鋼製品(大連)有限公司 <資本金> 80 百万円相当
 <業務内容> 鋼材販売、鋼材切断品製造・販売、鋼材加工品販売 <人員数> 7名
 <設立> 2012年9月
 <操業開始> 2013年1月(予定)
 <売上計画> 2013年12月期 90 百万円
 2014年12月期 200 百万円

以上